

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

1	所管室課	人権政策室	事業名	DV防止対策事業
事業概要				
DV防止対策				
活動実績				
配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等のために、相談を実施した。合わせて、DV防止に向けた啓発をSNSを通じて発信した。 ・DVIに関する相談件数 令和2年度…857件、令和元年度…552件、平成30年度…537件				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	722	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率（%）	41.5	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		・相談件数は増加傾向にあり、被害者の保護と自立に向けた支援を各々の被害者の状況を考慮し、適切に行った。 ・相談内容について、DV防止法の対象外の方や障がい、児童虐待等、様々な要因が複合し、複雑化した内容が増加しているため、関係機関とのより一層の連携が必要となっている。		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		
		引き続き、関係機関と連携し、個別に適切な支援を行うよう、努める。		

2	所管室課	人権政策室	事業名	ダブルリボンプロジェクト基金積立事業
事業概要				
ダブルリボンプロジェクト基金積立				
活動実績				
ダブルリボンプロジェクト基金は、Wリボンバッジ等の売上金の一部のほか、企業や市民からの寄附金等を積立てた。 ・積立金 令和2年度…1,501,063円 令和元年度…1,861,171円 平成30年度…1,616,875円				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	1,501	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率（%）	37.5	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		・Wリボンマークを市内に普及させ、Wリボンの理念・マークを市民・企業へ更に浸透させることが必要である。		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		
		安定した運営のため、企業等への周知が必要である。		

3	所管室課	人権政策室	事業名	男女共同参画事業
事業概要				
男女共同参画プラン策定・推進、啓発				
活動実績				
(1)すいた男女共同参画プラン推進 吹田市男女共同参画推進条例に基づき策定したすいた男女共同参画プランを推進し、男女共同参画社会の実現に向けて意識啓発を図る。 男女共同参画審議会開催回数 令和2年度 2回 男女共同参画に関する市民意識・実態調査 令和2年11月実施 第4次すいた男女共同参画プラン 令和元年度施策実施状況年次報告 令和2年12月発行				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	2,344	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率（%）	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		・男女共同参画意識の醸成には継続した啓発が有効であると考えられるが、SNS等の普及に伴い、市民や事業者に対し、有効な啓発内容や方法を検討する必要がある。 ・男女共同参画プランの進捗管理を効率的に行うため、年次報告の様式を一部、見直した。審議会の意見を年次報告や担当室課にどのように反映していくかを検討する必要がある。		
		今後の実施計画の方向性・内容		
		継続		
		審議会・関係室課と連携し、第5次すいた男女共同参画プランの策定を進める。		

上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

4	所管室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター管理事業
事業概要				
男女共同参画センター管理				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
(1)貸室事業 新型コロナウイルス感染症の影響により休館日が増えたため、令和元年度及び令和2年度の件数が大きく減少した。 ・施設利用件数及び延利用者数 令和2年度…利用件数2,171件、延利用者数25,838人 令和元年度…利用件数3,292件、延利用者数68,446人 平成30年度…利用件数3,644件、延利用者数74,040人 ※令和2年度臨時休館日数 134日 令和元年度臨時休館日数 27日	決算額 (千円)	30,755		※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	一般財源の比率 (%)	94.2		
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 施設の経年劣化に伴う維持管理については、計画的な修繕や設備の更新を行うなど適切な維持管理に努める。 また、当センターの認知度を向上させ、施設利用件数をあげるため、SNSをうまく活用し広報する必要がある。引き続き、感染症対策を行いながら市民が安全に利用できるよう施設管理を行う。			

5	所管室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター主催事業
事業概要				
男女共同参画センター運営、男女共同参画センター主催講座等、男女共同参画センター保育				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
(1)主催講座事業 令和2年度よりオンライン講座を開始し、多様な市民ニーズに応じた開催方法を行った。 令和2年度…講座数58講座、延開催回数96回、延活動人数3,717人 令和元年度…講座数79講座、延開催回数139回、延活動人数4,912人 平成30年度…講座数78講座、延開催回数157回、延活動人数5,734人 (2)保育事業 ・保育スタッフ延活動人数 令和2年度…80人 令和元年度…662人 平成30年度…775人 ・延保育児数 令和2年度…98人 令和元年度…923人 平成30年度…1,190人	決算額 (千円)	20,813		※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	一般財源の比率 (%)	99.8		
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催が中止となった講座もあったが、オンラインを活用した講座を新たに始めたことで、これまで講座に参加しにくかった方など新たな受講者が増えた。一方、オンラインに不慣れな方への対応策を検討する必要がある。 保育スタッフは、保育付き講座やスタッフが活動する時間の保育を担っており、今後も継続して保育スタッフを育成する必要があるが、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、安全な保育を行うためのスタッフの育成が課題である。			

6	所管室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター啓発事業
事業概要				
男女共同参画センター調査研究、男女共同参画センター啓発、男女共同参画センター情報収集・提供				
活動実績		年度	令和2年度	評価の視点
(1)広報事業 広報紙である「ソフィア」の発行や、ホームページ、Facebookの更新を随時行った。新たにTwitterを始め、男女共同参画の意識啓発並びにセンター事業の広報を行った。 ・ソフィア発行回数・部数 令和2年度…1回 令和元年度…3回 平成30年度…3回 (各回6,500部) ・Facebook投稿件数 107件 ・Twitter投稿件数 27件(令和3年1月開設) (2)調査研究事業 隔年で男女共同参画を推進するための課題について調査研究し、次年度に報告書を作成。 令和元年度は、「男性問題から見る男女共同参画～ジェンダー平等の実現と暴力・DV根絶に向けて～」のタイトルで、男性問題にかかわる専門家に原稿依頼。令和2年度は報告書にまとめて発行。 (3)情報ライブラリー事業 ・図書貸出冊数 令和2年度…2,121冊 令和元年度…4,653冊 平成30年度…4,305冊 ・情報ライブラリースタッフ延活動人数 令和2年度…144人 令和元年度…482人 平成30年度…639人	決算額 (千円)	4,226		※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
	一般財源の比率 (%)	100.0		
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 「ソフィア」を通して男女共同参画についての視点や意図が正しく伝わっているのかを検証出来ていないことが課題である。読者アンケートの実施などを積極的にやっていく。 情報ライブラリー事業については、利用者を増やすためホームページのリニューアルを行った。今後も更なる利用者増を目指し、参画スタッフと工夫をしていく。			

上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	113	施策	男女共同参画の推進
管理事業	男女共同参画事業	所管部局	市民部

7	所管室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	男女共同参画センター相談事業
事業概要				
男女共同参画センター相談				
活動実績				
(1)相談事業 女性のための相談を行う。令和2年度については、臨時休館になった日もあったが、相談事業は継続して行った。 ・電話相談件数 毎週月・金曜日10時～16時、水曜日10時～17時 令和2年度…425件 令和元年度…396件 平成30年度…337件 ・悩みの相談件数 毎月第1・4火曜日 第2・3土曜日 10時～14時35分 1人50分4枠 火曜日午後は保育付き 令和2年度…149件 令和元年度…141件 平成30年度…153件 ・法律相談件数 毎月第2土曜日 13時30分～17時 1人30分7枠 令和2年度…44件 令和元年度…58件 平成30年度…61件		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	2,546	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		一般財源の比率（%）	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		ホームページのリニューアルを行い、相談機関の周知に努めた。また、新規相談者の予約をなるべく早い時期に取れるよう新規の相談者枠を確保した。また令和2年度より、悩みの相談では月2回、保育付きの相談日を増やした。子供連れの相談者への環境整備にこれからも注力していく。課題としては、相談枠の拡充と直前のキャンセル対策などを検討する必要がある。		

8	所管室課	人権政策室男女共同参画センター	事業名	DV防止対策事業
事業概要				
DV防止対策				
活動実績				
【DV相談の時間及び回数増による拡充】 【中学生デートDV予防啓発講座の実施校数増による拡充】 【小学生いじめ暴力予防啓発講座の実施による拡充】 令和2年度より事業を拡充し、DV相談においては相談日が増えたことにより待ち日数が減少した。 (1)DV相談事業 毎月第1・2・3・4木曜日 10時～14時50分 1人50分4枠 午後は保育付き ・DV相談件数 令和2年度…116件 令和元年度…103件 平成30年度…105件 (2)デートDV予防啓発事業 ・出前授業実施校数 中学生 令和2年度…7校 令和元年度…9校 平成30年度…7校 高校生 令和2年度…2校 令和元年度…2校 平成30年度…3校 大学生 令和2年度…1校 令和元年度…3校 平成30年度…4校 (3)小学生いじめ暴力予防啓発事業 ・出前授業実施校数 令和2年度…5校		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）	3,261	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充
		一般財源の比率（%）	35.6	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		DV相談のニーズは年々高くなっており、相談日までの待ち時間が長いことが大きな課題であったが、令和2年度より相談枠、相談時間の拡充を行った。また、保育付きの相談日を月4回に増やした。少しでも早い段階からDV防止の啓発をするため、中学生・高校生・大学生を対象にデートDV予防啓発出前授業を実施しているが、令和2年度からは小学生対象の出前授業も開始し、今後もさらなる啓発を行っていく。		

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額（千円）		※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		一般財源の比率（%）		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名